



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和7年度

一ツ瀬川農業水利事業

環境モニタリング調査業務

# 積算書

(当初)

九州農政局  
一ツ瀬川農業水利事業所

















事業名	一ツ瀬川農業水利事業					
業務名	環境モニタリング調査業務					
業務別業務名: 設計業務						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S02116	*** S単-1号 *** 高速道路料金(往復) 高速道路料金(往復) 消費税抜,,					
			往復	8,708		歩A・単A
S02116	*** S単-2号 *** ガソリン ガソリン JIS2号 レギュラースタンド,,					
			L	170		歩A・単A
S16001	*** S単-3号 *** ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] ,乗車定員5名 排気量1.5L,運転1日当たり算出					
			日	1,960		歩A・単A
S63003	*** S単-4号 *** 1.資料の検討 設計労務(直接人件費内業)					
			式	270,650		歩A・単A
S63003	*** S単-5号 *** 2-1.個体の移植先の選定 設計労務(直接人件費内業)					
			式	149,850		歩A・単A
S63003	*** S単-6号 *** 2-2.植物のモニタリング 設計労務(直接人件費内業)					
			式	149,850		歩A・単A
S63003	*** S単-7号 *** 2-3.昆虫類のモニタリング 設計労務(直接人件費内業)					
			式	149,850		歩A・単A
S63003	*** S単-8号 *** 3.有識者ヒアリング 設計労務(直接人件費内業)					
			式	534,000		歩A・単A
S63003	*** S単-9号 *** 4.点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)					
			式	440,100		歩A・単A
S63007	*** S単-10号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)					
			式	148,400		歩A・単A
S63010	*** S単-11号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.8日					
			回	164,450		歩A・単A
S63010	*** S単-12号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.8日					
			回	140,530		歩A・単A
S63017	*** S単-13号 *** 旅費交通費(設計外業宿泊用) 旅費交通費(設計外業宿泊用) ライトバン,1.00日,2日,3時間					
			式	15,382		歩A・単A
S63023	*** S単-14号 *** 電子納品版業務報告書作成 電子納品版業務報告書作成 1,A-4,500,5cm,0					
			式	7,341		歩A・単A
T00001	*** T単-1号 *** 打合せ(設計旅費・交通費)					
			回	13,422		歩A・単A

事業名	一ツ瀬川農業水利事業					
業務名	環境モニタリング調査業務					
業務別業務名: 設計業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単-1号 ***						
S02116	高速道路料金(往復)		往復		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	高速道路料金(往復) 消費税抜			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分:地域資材(Pコード) 2)地域資材単価コード(P):P96001 3)地区資材単価コード(J): 4)施設機械資材単価コード(K):			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96001	高速道路料金(往復) 消費税抜	1,000	往復	8,708	8,708	
	合計				8,708	算出数量 1,000 各単位
	単価				8,708	
*** S単-2号 ***						
S02116	ガソリン		L		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分:地域資材(Pコード) 2)地域資材単価コード(P):P34001 3)地区資材単価コード(J): 4)施設機械資材単価コード(K):			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	1,000	L	170	170	
	合計				170	算出数量 1,000 各単位
	単価				170	
*** S単-3号 ***						
S16001	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動]		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L, 運転1日当たり算出			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械コード<単位が時間のみ>:M28121 2)機械コード(同上):M28121 3)機械損料算出区分:運転1日当たり算出 4)運転1日当たり運転時間(T):3.6時間 5)運転日に対する供用日の割合(YC):1.19 6)単価計上区分:機械損料等のみ 7)岩石補正区分:岩石補正なし 10)燃料消費量(入力の場合):0.0 11)消耗部品の計上の有無:消耗部品の計上しない 13)消耗部品費の適用条件(2):消耗部品なし 14)名称(消耗部品):- 15)規格(消耗部品):-			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,960	1,960	
	合計				1,960	算出数量 1,000 各単位
	単価		各単位		1,960	
Y00001	単位					
*** S単-4号 ***						
S63003	1.資料の検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数:0.00人 2)技師長の人数:0.00人 3)主任技師の人数:0.50人 4)技師Aの人数:1.00人 5)技師Bの人数:2.00人 6)技師Cの人数:2.00人 7)技術員の人数:0.00人			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	1,000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	2,000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	2,000	人	40,300	80,600	
	合計				270,650	算出数量 1,000 式
	単価		式		270,650	
*** S単-5号 ***						
S63003	2-1.個体の移植先の選定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数:0.00人 2)技師長の人数:0.00人 3)主任技師の人数:0.00人 4)技師Aの人数:1.50人 5)技師Bの人数:0.00人 6)技師Cの人数:1.50人 7)技術員の人数:0.00人			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A)	1,500	人	59,600	89,400	

事業名	一ツ瀬川農業水利事業					
業務名	環境モニタリング調査業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04006	技師 (C)	1.500	人	40,300	60,450	
	合計				149,850	算出数量 1.000 式
	単価		式		149,850	
	*** S単-6号 ***					
S63003	2-2.植物のモニタリング 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数:0.00人 2)技師長の人数:0.00人 3)主任技師の人数:0.00人 4)技師Aの人数:1.50人 5)技師Bの人数:0.00人 6)技師Cの人数:1.50人 7)技術員の人数:0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師 (A)	1.500	人	59,600	89,400	
R04006	技師 (C)	1.500	人	40,300	60,450	
	合計				149,850	算出数量 1.000 式
	単価		式		149,850	
	*** S単-7号 ***					
S63003	2-3.昆虫類のモニタリング 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数:0.00人 2)技師長の人数:0.00人 3)主任技師の人数:0.00人 4)技師Aの人数:1.50人 5)技師Bの人数:0.00人 6)技師Cの人数:1.50人 7)技術員の人数:0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師 (A)	1.500	人	59,600	89,400	
R04006	技師 (C)	1.500	人	40,300	60,450	
	合計				149,850	算出数量 1.000 式
	単価		式		149,850	
	*** S単-8号 ***					
S63003	3.有識者ヒアリング 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数:0.00人 2)技師長の人数:0.00人 3)主任技師の人数:0.00人 4)技師Aの人数:3.00人 5)技師Bの人数:4.00人 6)技師Cの人数:4.00人 7)技術員の人数:0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師 (A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師 (B)	4.000	人	48,500	194,000	
R04006	技師 (C)	4.000	人	40,300	161,200	
	合計				534,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		534,000	
	*** S単-9号 ***					
S63003	4.点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数:0.00人 2)技師長の人数:0.00人 3)主任技師の人数:1.00人 4)技師Aの人数:2.00人 5)技師Bの人数:2.00人 6)技師Cの人数:3.00人 7)技術員の人数:1.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師 (A)	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師 (B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 (C)	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員	1.000	人	36,100	36,100	
	合計				440,100	算出数量 1.000 式
	単価		式		440,100	

事業名	一ツ瀬川農業水利事業					
業務名	環境モニタリング調査業務					
業務別業務名: 設計業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単-10号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数:0.00人 2)技師長の人数:0.00人 3)主任技師の人数:0.00人 4)技師Aの人数:1.00人 5)技師Bの人数:1.00人 6)技師Cの人数:1.00人 7)技術員の数:0.00人			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A) 外業	1,000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B) 外業	1,000	人	48,500	48,500	
R04006	技師(C) 外業	1,000	人	40,300	40,300	
	合計				148,400	算出数量 1,000式
	単価		式		148,400	
	*** S単-11号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.8日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種:一般工種 2)打合せ:着手前・最終 3)設計用主任技師人数:1.00人 4)設計用技師(A)人数:1.00人 5)設計用技師(B)人数:0.00人 6)設計用技師(C)人数:0.00人 7)打合せ日数:0.500日 8)往復移動日数:0.800日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1,300	人	66,900	86,970	
R04004	技師(A)	1,300	人	59,600	77,480	
	合計				164,450	算出数量 1,000回
	単価		回		164,450	
	*** S単-12号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.8日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種:一般工種 2)打合せ:中間 3)設計用主任技師人数:0.00人 4)設計用技師(A)人数:1.00人 5)設計用技師(B)人数:1.00人 6)設計用技師(C)人数:0.00人 7)打合せ日数:0.500日 8)往復移動日数:0.800日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A)	1,300	人	59,600	77,480	
R04005	技師(B)	1,300	人	48,500	63,050	
	合計				140,530	算出数量 1,000回
	単価		回		140,530	
	*** S単-13号 ***					
S63017	旅費交通費(設計外業宿泊用)		式		1,000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) ライトバン,1.00日,2日,3時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分:ライトバン 2)高速道路往復料金(税別):8,708円 3)鉄道往復料金[全員分合算](税別):0円 4)バス往復料金[全員分合算](税別):0円 5)船舶往復料金[全員分合算](税別):0円 6)航空往復料金[全員分合算](税別):0円 7)往復移動日数:1.00日 8)ライトバン使用日数:2日 9)時間区分:3時間 10)技師長外業日数:0.000日 11)主任技師外業日数:0.000日 12)技師A外業日数:4.500日 13)技師B外業日数:2.000日 14)技師C外業日数:4.500日 15)技術員外業日数:0.000日 16)宿泊料金1人当料金(税別):0円 17)宿泊手当1人当料金(税別):0円			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1,000	式	8,708	8,708	
M28121	ライトバン[オフラインエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2,000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	16,200	L	170	2,754	
	合計				15,382	算出数量 1,000式
	単価		式		15,382	
	*** S単-14号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1,000	歩A 当たり算出







令和7年度 一ツ瀬川農業水利事業  
環境モニタリング調査業務

特 別 仕 様 書

九州農政局一ツ瀬川農業水利事業所

## 第1章 総則

### 第1-1条 (適用範囲)

令和7年度 一ツ瀬川農業水利事業 環境モニタリング調査業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書(設)」という。)、によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### 第1-2条 (目的)

本業務は、国営かんがい排水事業一ツ瀬川地区環境配慮計画に基づき保全対象生物のモニタリング調査及び有識者ヒアリングを行うものである。

### 第1-3条 (場所)

本業務における対象施設は、宮崎県西都市茶臼原及び穂北地内で、別添位置図に示すとおりである。

### 第1-4条 (土地の立入り等)

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書(設)第1-16条によるが、作業に伴う立木伐採等については、事前に伐採範囲の打ち合わせを監督職員と行い、所有者の承諾を得た後に伐採を行う。

### 第1-5条 (履行確実性評価の達成状況の確認)

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

- ① 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ② 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③ その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- ④ 業務成果品のミス、不備 等

### 第1-6条 (一般事項)

業務請負契約書及び共通仕様書等に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

#### 第1-7条 (管理技術者)

管理技術者は、共通仕様書(設)第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業-農業土木
		農業-農村環境
		農業-農業農村工学
		農業-農村地域・資源計画
		環境-環境保全計画
		環境-自然環境保全
	環境-環境影響評価	
農業	農業土木、農村環境 農業農村工学、農村地域・ 資源計画	
建設	建設環境	
環境	環境保全計画、自然環境保 全、環境影響評価	
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティング マネージャー	農業土木、建設環境	

別紙1に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

#### 第1-9条 (担当技術者)

- (1) 担当技術者は、共通仕様書(設)第1-8条によるものとする。
- (2) 生物調査の実施にあたっては、調査項目に対応する生物分類技能検定2級以上の資格を有する者を配置し、調査着手前に監督職員に調査実施者名簿を提出するものとする。

### 第1-10条（配置技術者の確認）

共通仕様書（設）第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書（設）第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- （1）受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- （2）農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

### 第1-11条（保険加入）

受注者は、共通仕様書（設）第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

### 第2-1条（適用する図書）

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

番号	名 称	発行所	制定(改訂)年月
1	環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針	(社) 農業農村工学会	平成 27 年 5 月
2	環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き、同第2編	農林水産省 HP に掲載	平成 15 年 3 月
3	農業農村整備事業における生態系配慮の技術指針	(社) 農業土木学会	平成 19 年 2 月

### 第2-2条（貸与資料等）

貸与資料は、次のとおりである。

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

番号	貸 与 資 料	数量
1	令和4年度 一ツ瀬川農業水利事業 環境モニタリング調査業務報告書	1部
2	国営かんがい排水事業 一ツ瀬川地区環境配慮計画書	1部

### 第2-3条（貸与資料等の取扱い）

第2-2条に示す貸与資料等の取扱いは次のとおりとする。

- （1）貸与資料等の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- （2）貸与資料等は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

## 第2-4条(調査員)

調査員は、各調査を的確に実施することのできる知識と経験を有する者でなければならない。また、受注者は初回打合せ時に調査員名簿を作成し、監督職員に提出するものとする。

## 第2-5条(関連工事)

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた業務成果としなければならない。

番号	工事名	工事実施期間
1	一ツ瀬川農業水利事業 東原調整池他建設工事	令和7年1月 ～令和9年3月

## 第3章 作業内容

### 第3-1条(作業項目及び数量)

(1) 設計にかかる作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は【作業項目一覧表】別表1に示すものとする。

作業項目表

作業項目	数量	備考
1. 環境モニタリング調査	1式	

### 第3-2条(作業の留意点)

業務の実施あたって、特に留意する点は次のとおりとする。

(1) 設計

1) 第2-2条及び共通仕様書に示す貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合、その出典を明示するものとする。

2) 有識者ヒアリングについては、出席し、議事録を作成する。

### 第3-3条(業務の成果品質確保対策)

契約後業務着手時並びに最終打合せ時において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項並びに「業務の成果品質確保対策」(<http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/index.html>)を十分に理解のうえ、対応するものとする。

(1) 業務確認会議

業務着手時に、管理技術者・担当技術者並びに事業所長、主任監督員(主催)、監督員が、設計方針、条件等の確認を一堂に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

1) 業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議を開催するものである。なお、確認事項については変更する場合がある。

- ① 設計条件・前提条件
- ② 業務計画の妥当性
- ③ スケジュール
- ④ 設計変更内容
- ⑤ その他：事業間連携、資材選定チェック、コスト縮減、環境対策等の促進等

2) 会議の開催については、監督員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督員と協議するものとし、規定の打合せ時以外に開催する場合の費用については、必要に応じ設計変更で計上する。

## (2) 合同現地踏査

管理技術者・担当技術者並びに事業所長、主任監督員（主催）、監督員が、必要に応じて合同で現地踏査を行うことにより、設計条件や施工の留意点、関連事業の情報、設計方針の明確化等、情報共有を図るものとする。

(3) 業務確認会議において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。

## 第3-4条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

### (1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

### (2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

### (3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、（1）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記1) に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成

要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

#### (4) 写真の納品

受注者は、(3) に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL ([https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac\\_auth.php](https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php)) のチェックシステム (信憑性チェックツール) 又はチェックシステム (信憑性チェックツール) を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

#### (5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第4章 打合せ

### 第4-1条 (打合せ)

共通仕様書 (設) 第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 設計作業着手の段階

第2回 中間打合せ (モニタリング調査完了段階)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、別紙1に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書 (設) 第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

## 第5章 成果物

### 第5-1条 (成果物)

成果物を共通仕様書 (設) 第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

(1) 成果物の電子媒体 (CD-R若しくはDVD-R) 正副2部

(2) 成果物の出力 1部 ((電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については別途監督職員の指示によるものとする。

#### 第5-2条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋300

九州農政局一ツ瀬川農業水利事業所

### 第6章 契約変更

#### 第6-1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (2) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (3) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (4) 履行期間の変更が生じた場合。
- (5) その他

### 第7章 定めなき事項

#### 第7-1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又は本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別表1【作業項目一覧表】

作業項目	作業内容	数量	備考
1. 資料の検討	貸与資料を整理し、内容を把握するとともに、業務計画を作成する。	1式	
2. 環境調査			
2-1. 個体の移植先の選定	東原調整池関連工事の施工計画を考慮し、アカハライモリの移設地を選定する。	1式	
2-2. 植物のモニタリング	カワラケツメイの移植地のモニタリングを行い、写真、個体数、調査日時を整理し、調査表（任意様式）に取りまとめる。 なお、個体数の把握が困難な場合は概数を記載する。また、モニタリング調査、貸与資料を踏まえ、調査結果をとりまとめる。	1式	
2-3. 昆虫類のモニタリング	ツマグロキチョウの移植地のモニタリングを行い、写真、個体数、調査日時を整理し、調査表（任意様式）に取りまとめる。 なお、個体数の把握が困難な場合は概数を記載する。また、モニタリング調査、貸与資料を踏まえ、調査結果をとりまとめる。	1式	
3. 有識者ヒアリング	有識者に以下の内容のヒアリングを行う。  ①前回のモニタリングと本業務で実施したモニタリングのとりまとめ結果 ②移植先の選定内容  ※有識者の選定、調整を含む。	1式	
4. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	1式	

別表2 環境調査内容

調査名	調査範囲	調査対象・調査時期		調査手法 ※注1	調査内容
		夏季（6月～8月）	回数		
モニタリング調査	移植地	植物（カワラケツメイ）	1回	直接観察、捕獲調査	移植地周辺を調査範囲とする。（詳細は別添1 調査範囲図参照）一年草のため、その年の個体数を把握し分布状況を記録する。
	移植地	昆虫（ツマグロキチョウ）	1回	直接観察、捕獲調査	移植地を調査範囲とする。（詳細は別添1 調査範囲図参照）個体数を把握し分布状況を記録する。カワラケツメイ移植地でのツマグロキチョウの産卵状況を把握し記録する。

※注1 記載の手法から現地条件に合わせた手法で調査を行うものとする。

別添1 調査範囲図



別紙 1

予定価格算出の基礎となった同表 A～D までに掲げる額の合計額に 100 分の 110 を乗じて得た額を予定価格で除して得た割合とする。

ただし、その割合が 10 分の 8.1 を超える場合にあっては 10 分の 8.1 とし、10 分の 6 に満たない場合にあっては 10 分の 6 とするものとする。

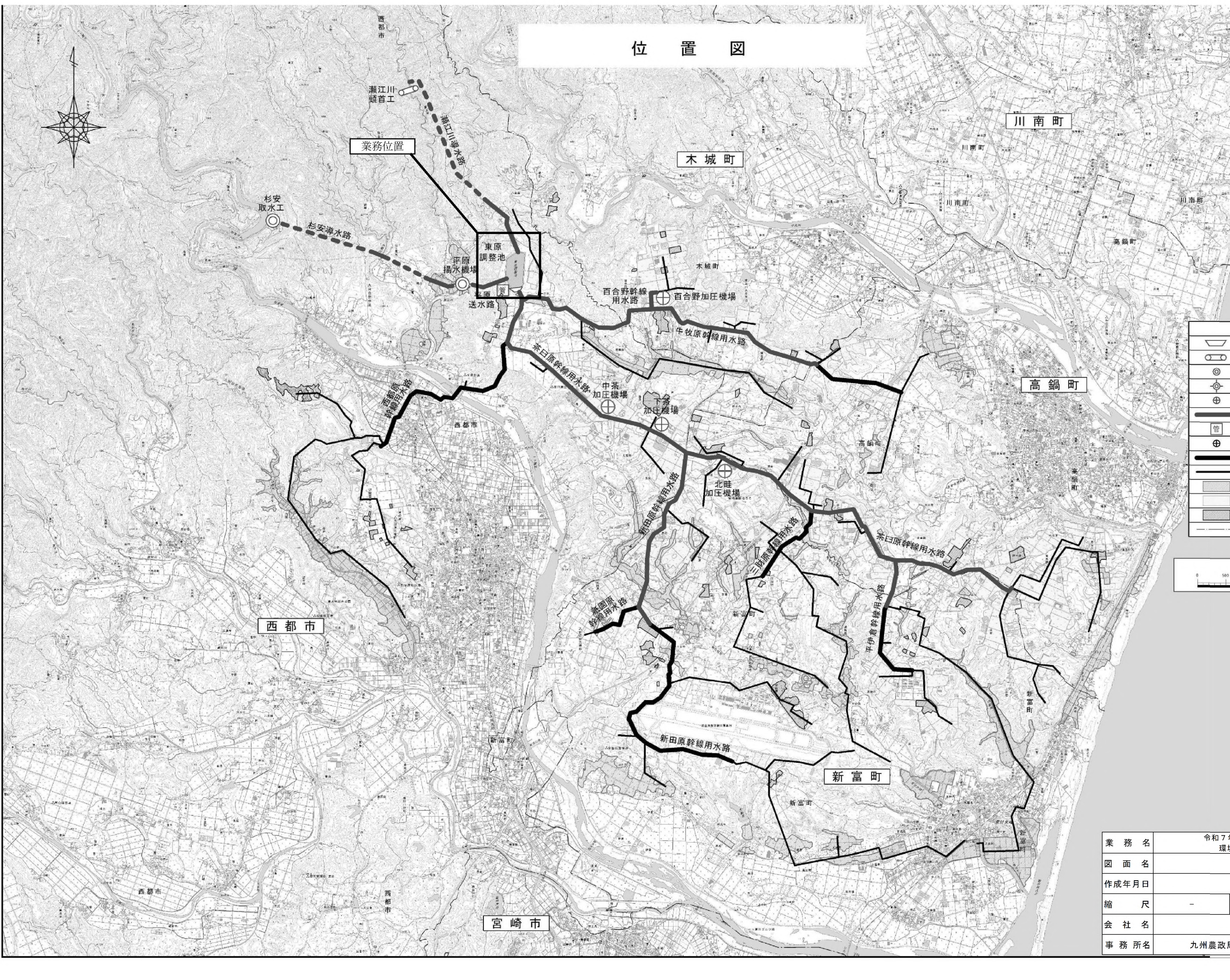
業種区分	A	B	C	D
建設コンサルタント (土木関係のもの)	直接人件費の額	直接経費の額	その他原価の額 に 10 分の 9 を 乗じて得た額	一般管理費等の 額に 10 分の 5 を 乗じて得た額

令和7年度 一ツ瀬川農業水利事業  
環境モニタリング調査業務

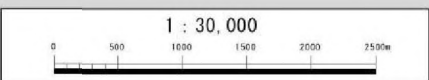
図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図	1	
計		1	

# 位置図



凡例		
	対象	調整池
		頭首工
		取水工
	対象	揚水機場
		加圧機場
	対象外	用水路
		水管理施設
	対象外	加圧機場
		用水路
	受益地(田)	
	受益地(畑)	
	受益地(樹園地)	
	市町界	



業務名	令和7年度 一ツ瀬川農業水利事業 環境モニタリング調査業務		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	-	図面番号	1
会社名			
事務所名	九州農政局 一ツ瀬川農業水利事業所		